

有家 名門チームへ1位指名 野原将志選手が阪神へ



▲松島市長とがっちり握手

南島原市が誕生した今年、私たちの郷土南島原市初のプロ野球選手が誕生します。

有家町尾上出身の野原選手は現在長崎日大高校の3年生。9月25日に行われた、プロ野球・高校生ドラフトで阪神に見事1位指名を受けました。そんな周囲があわただしくなった10月1日(日)、市役所を訪れ、市長を表敬訪問しました。

笑顔がとてもさわやかな野原選手は、終始にこやかな表情で、小学校から始めたソフトボール、中学校からの野球経験など「つらくても、やめようと思ったことは一度もありません」と、これまでの経過を話しました。

身長184センチの大型遊撃手として将来を期待されている野原選手は「ライバルは堂上選手(中日1位指名)で、絶対に負けたくはないです」と内に秘めた闘志ものぞかせました。今回の表敬訪問に先立ち、同日早朝有家地区体育祭でのあいさつの中で、松島市長は「ぜひ後援会を立ち上げ、全力で応援したい」と決意を述べ、観客からの賛同を得ました。阪神ファンとして甲子園球場へ足を運び、スタンドから応援できる日がとても待ち遠しく感じるのは、気の早い私だけではないでしょう…。ガンバレ!野原将志選手!

ちょっとした話題や いい話ありませんか?

ご意見・ご提案もお待ちしています。
総務部総務課秘書班または各総合支所にご連絡下さい。
南島原市 総務部 総務課 秘書班
TEL050-3381-5001 FAX0957-82-3086
E-mail info@city.mainamishimabara.lg.jp

市全体 献血協力者に 県知事感謝状

献血の推進に長年にわたり協力していただいた方にたいし、長崎県知事から感謝状が贈られました。表彰を受けられた方は、次の方々です。

今後とも献血の推進にご協力をお願いします。

(献血100回以上)



江口 博伸さん(布津町)



中村 議市さん(南有馬町)

(献血40回以上)

岸本キヌエさん(深江町)	下田 康文さん(深江町)
白石 康盛さん(深江町)	福島 敏泰さん(深江町)
平川 清志さん(布津町)	末吉 慶三さん(有家町)
城川 清張さん(西有家町)	高橋 英喜さん(西有家町)
土橋 久雄さん(西有家町)	中島 敦男さん(西有家町)
菅藤 光浩さん(北有馬町)	小嶺 君子さん(南有馬町)
馬場 武さん(南有馬町)	平 悦子さん(口之津町)
福田俊一郎さん(口之津町)	

南有馬 輝く連覇!

空手道で2年連続全国制覇



▲日本一の賞状を手に

南有馬町の宮川誠悟さんが、9月16日から18日に広島市で開かれた日本マスターズ2006の空手道競技に長崎県代表として出場し、2年連続となる通算3回目の全国優勝を果たしました。

宮川さんが出場したのは、空手道競技の第4部(55歳から59歳)で参加選手は45人。今回の大会は、苦しい試合が続き、準決勝の東京都の選手、決勝の鹿児島県の選手には、延長戦での勝利でしたが、見事栄冠を手にしました。今後は、来年の同大会での4回目、3連覇の優勝を目指し、道場の子供たちと一緒に汗を流されるそうです。本当におめでとうございます。



▲1等に輝いた『まゆ』と梶原弘治さん



▲かわいい審査員?が見学しました。

市全体 情熱的な唄と踊り

はえんかぜ ～南風にのせて～公演

沖縄独特のゆったりした言の葉による透き通る歌声、と思えば今度は激しく勇ましい踊り。こんな緩急色とりどりの琉球音楽公演が9月16日(土)、ありえコレジヨホールで開催されました。この公演は、長崎県と南島原市が協力して開催する「郷土の芸術家公演事業」のひとつとして行われました。今回はチケット販売当初から多くの反響があり、すぐに完売、満員御礼の会場となりました。前半では、琉球国祭り太鼓の荘厳な演目で始まり、『島唄の風』と題した琉球音楽が披露されました。後半に入ると南島原市小学生によるエイサーの披露発表や、長棒を使った女性による勇壮な演舞「武の舞」、かまれたら幸せになるといわれる獅子舞の舞など連続する出し物で会場の熱気は最高潮に。2時間ほどの公演はあっという間で、観客のアンコールの拍手と声が、素晴らしい公演だったことを表していました。

市全体 スタイル抜群!?

第1回南島原市畜産共進会

10月6日(金)、有家総合運動公園サブグラウンドで南島原市発足後初めてとなる、第1回南島原市畜産共進会が市、農協の後援により開催され、黒毛和牛50頭、褐毛和牛16頭が勢揃いしました。共進会は、日頃の育成技術を披露する場で、この日は家族同様に育てられた牛を13名の各専門員が審査。審査基準となるのは、月齢に応じた発育状況や体格のバランスなどで、各審査員は部位を一つ一つ確認し、総合点数で1等から3等までを選出しました。

黒毛和牛(子牛)部門で1等に輝いた『まゆ』を育てられた梶原弘治さん(北有馬町己)は「何事も先を見て勉強する事が大切。また、経験を積み、見る目を養うことが良い牛を育てることにつながります」と感想をのべられました。

BSE問題などで、国産牛肉があらためて見直され、評価が高くなりつつある和牛。これからは良い牛がたくさん育ちますように。



▲Teamくるの美しい声がひびきました



▲勇壮でエネルギッシュな太鼓演奏